

別表

- 1 審査項目及び各配点は次のとおりとし、審査委員5名が採点する。
- 2 審査項目ごとの評価点数の総和をもって、企画提案者ごとの評価点数を決定し、点数の多いものから順に審査委員毎の順位をつける。
- 3 全企画提案者の中で、各審査委員がつけた1位の数が最も多かった者を委託契約候補者とする。なお、1位の者が複数の場合は、最も得点の高かった者を委託契約候補者とする。
- 4 提案者が1者の場合は、審査委員採点の総和の平均70点以上をもって委託契約候補者とする。

令和2(2020)年度栃木県戦略的PR事業公募型プロポーザル審査基準

| 区分 | | | 評価項目 | 配点 |
|----|------------|------|--|-----|
| 1 | 業務内容の理解度 | (1) | 本事業の目的を理解した提案であるか。 | 5 |
| 2 | 企画提案の優位性 | (2) | 効果的なPR計画の策定及びプレスリリースの作成・配信が期待できるか。 | 15 |
| | | (3) | メディアプロモートによって、テレビ番組等での本県情報の放映・記事掲載等が期待できるか。 | 15 |
| | | (4) | 効果的なメディアタイアップが期待できるか。 | 15 |
| | | (5) | 効果測定等によりの確な分析が期待できるか。分析に基づく効果的な改善提案がなされることが期待できるか。 | 10 |
| | | (6) | アドバイザーの人選案は的確か。 | 5 |
| | | (7) | 次期取組方針策定に係るアドバイザーのサポートが十分に受けられる提案になっているか。 | 5 |
| | | (8) | その他、独自提案として審査上評価すべき点があるか。 | 5 |
| 3 | 企画提案の実施可能性 | (9) | 実施体制、実施スケジュールが業務を安定的に遂行できるものであるか。 | 10 |
| | | (10) | 十分な類似業務の実績があり、業務遂行能力が認められるか。 | 10 |
| | | (11) | 業務内容に見合った適切な経費であるか。 | 5 |
| 合計 | | | | 100 |